

事務事業評価シート 令和 2 年度事後評価・決算

令和 4 年 2 月 10 日時点

事務事業名	コード	19000 食生活改善推進事業	予算科目	会計 一般	款 4	項 1	目 2	所管課	健康づくり課	担当班	成人保健班	
基本施策	5	保健・医療の充実	根拠法令	健康増進法				事業種別	<input checked="" type="checkbox"/> 主な事業 <input type="checkbox"/> 国土強靱化地域計画 <input checked="" type="checkbox"/> 新市建設計画 <input type="checkbox"/> 定住自立圏構想 <input type="checkbox"/> 主要事業			
施策の展開	11	健康づくりの推進	戦略事業	46	食生活改善推進事業							
施策の展開	12	病気予防対策の充実	戦略事業									

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間	② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない
<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 <input type="checkbox"/> 平成 年度～ <input checked="" type="checkbox"/> 開始年度不詳 <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 平成 年度～ 令和 年度まで	・保健推進員が塩分濃度測定器を用いて家庭で作られた味噌汁の塩分濃度を測定し、減塩に関するパンフレットの配布を行って啓発を行う。 ・保健推進員が学校や地区の集会などの場を利用して、健康メニューの試食提供や紙芝居を行って、健康づくりの知識を広く市民に伝える。 ・小さいころから自らの食について、考える習慣や知識を習得するために食育事業を行う。
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状	④ 事務事業に関する課題・環境の変化
昭和58年に婦人の健康づくり推進事業に食生活改善推進員の教育事業が加わり、さらに平成9年地域保健法により義務化されたため。旧市町での開始時期は不明。	・平成15年に栄養改善法が廃止され、健康増進法に移行された。 ・平成17年に食育基本法が施行された。 ・対象者は、生活活動量の減少や食生活の欧米化が進み、生活習慣病とその予備群が大幅に増加している。 ・ほとんどの推進員が1期で交代するため、知識や経験が不足しがちである。
⑤ 事務事業に対する住民からの意見等	
・地区伝達活動を実施した学校や地区高齢者グループから好評を得ている。 ・次年度もまた開催してほしい等の要望がある。 ・地区伝達活動実施後、別の場所でもって参加者から推進員に声をかけてくれる。	

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(2年度の決算) 単位:千円	
1.消耗品費	66 地区食生活改善活動材料代等
2.手数料	67 腸内細菌検査手数料
3.通信運搬費	25 腸内細菌検査容器郵送料
4.通行料及び駐車料	千葉県食生活改善協議会中央研修会道路通行料
5.負担金	出展ブース負担金
② 特定財源の内訳(2年度の決算) 単位:千円	
1.国庫支出金	
2.都道府県支出金	
3.地方債	
4.その他	

事業費	費目内訳	1. 消耗品費	千円	235	231	221	66	241
		2. 手数料	千円	51	54	54	67	74
財源	事業費計 (A)	3. 通信運搬費	千円	11	15	24	25	32
		4. 通行料及び駐車料	千円	6	9		7	
		5. 負担金	千円	10	10	10	10	
		1. 国庫支出金	千円					
		2. 都道府県支出金	千円					
事業費計 (A)		千円	313	319	309	158	364	
財源		千円	313	319	309	158	364	
1. 国庫支出金		千円						
2. 都道府県支出金		千円						
3. 地方債		千円						
4. その他		千円						
5. 一般財源		千円	313	319	309	158	364	

前年度増減理由	新型コロナのため地区伝達講習会の中止や食育活動の中止、市の産業まつりの中止、視察研修の中止があり活動が減少したため
---------	---

従事職員数 常時 1人 最大 8人 × 5日 = 延べ 40人

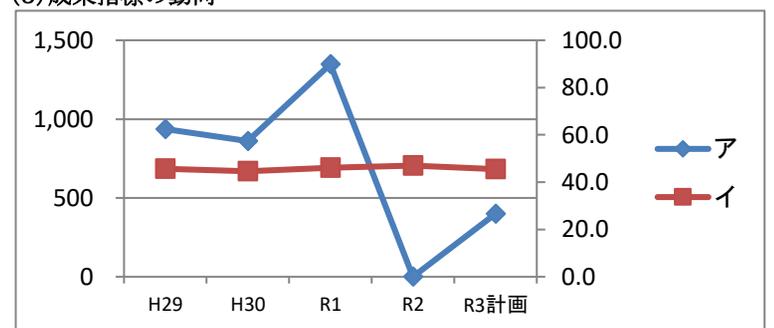
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(実績)	3年度(計画)
	2年度実績(2年度に行った主な活動) 訪問等による地区活動や千葉県食生活改善協議会事業等(シニアカフェ、男性のための料理教室、若者世代、働き世代への生活習慣病予防事業)、みそ汁塩分濃度測定活動、自主勉協会の実施	ア 地区伝達講習会等の実施回数	回	20	19	23	0	15
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	イ 食育学習の実施回数	回	4	1	3	0	3
	対象意図 市民 市民が望ましい食生活を実践できるようになる。	④ 成果指標名	単位	29年度(実績)	30年度(実績)	1年度(実績)	2年度(実績)	3年度(計画)
対象意図	ア 地区伝達講習会等への参加者数	人	936	861	1,348	0	400	
	イ 塩分が原因となる疾病がある人の割合(収縮期血圧基準値以上の者)	%	45.7	44.6	46.1	47.0	45.5	

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		② コスト削減優先度評価結果		
施策貢献度	成果向上余地	コスト比率		
	かなりある	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	ある程度ある	①	②	③
大きい	②	④⑤	⑥	⑦⑧
普通		⑨		
小さい				

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

① 進捗状況	<input type="checkbox"/> 完了 <input type="checkbox"/> 順調 <input type="checkbox"/> 概ね順調 <input checked="" type="checkbox"/> 停滞 <input type="checkbox"/> 実施困難
【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	新型コロナ感染症のため地区伝達講習会の開催が中止になったり、小学生を対象とした通学合宿などの食育活動、産業まつりでの健康体操の普及活動等が中止となったため主な活動ができなかった。県からの食生活改善活動のみ感染症対策を行いながら訪問にて実施したのみ。
② 成果の状況	成果指標ア 成果指標のタイプ <input checked="" type="checkbox"/> 数値増=成果向上 <input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下 成果指標イ 成果指標のタイプ <input checked="" type="checkbox"/> 数値増=成果向上 <input type="checkbox"/> 向上 <input type="checkbox"/> 横ばい <input checked="" type="checkbox"/> 低下
【コメント】 (低下の場合、その理由)	地区伝達講習会が中止となったり、健診での減塩のための普及活動(減塩アンケート等)が出ず、低下した。
③ 今年度取組事項 (3年度に取り組む主な事項について記載)	時期 5月～2月 内容 千葉県食生活改善協議会事業(男性のための料理教室、やさしい在宅介護食教室、シニアカフェ、若者世代や働く世代への食育等)を中心に活動 今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> その他() 注: 新しい生活様式に沿った食生活改善や食育での地区活動の方法を見直し、活動が停滞しないようにする。